

年 組 名前

2021 年 3 月 5 日 日刊県民福井



[Blank box for student name]

福井・道の駅

青空の下、菜の花の周りで蜜を求め飛び回るハチ=4日、福井市の一乗谷あさくら水の駅で（蓮覚寺宏絵撮影）

五日は二十四節気の一つ「啓蟄」。土の中で冬ごもりしていた虫はいは出るころとされる。福井市安波賀中島町にある道の駅「一乗谷あさくら水の駅」内の畑では四日、日差しを浴びた黄色い菜の花の周りをハチが飛び交い、春の訪れを感じさせる光景が広がっていた。

福井地方気象台によると、四日の最高気温は坂井市三国で一七・五度を観測し、四月下旬並みの暖かさに。美浜でも一五・七度と四月上旬並みとなった。五日以降も平年より気温の高い日が続くが、気圧の谷の影響で雲が多くなり、八日ごろまでぐずついた天気となる見込み。

(成田真美)

きょう啓蟄

※ 大人の人に記事を読んでもらって考えましょう。

問い：新聞記事には、記事の内容を短い言葉であらわした題名がつ

いています。これを「見出し」と言います。新聞記者になって、

この記事の見出しを [] に書きましょう。

【活用にあたって】

見出しは、記事の題名にあたるものです。内容を短い言葉で表しています。読者の目をひくように、大きな文字で書かれています。「究極の要約」と言っているものです。書かれている内容をどう短くまとめるか、読解力を付ける上でも、見出し作りは大切な学習活動になります。

ちなみに日刊県民福井の見出しは、「春の日差し ハチ上機嫌」というものでした。また、同日の中日新聞福井版では、「菜の花畑ハチの羽音」でした。

春の訪れを、第1段落では菜の花の周りを飛び交うハチの情景で伝えています。第2段落では4月並みの気温の高さで説明しています。生活科では具体的な活動や体験を重視して体全体で学びます。自然の中から春を見付ける活動との関連で取り組みたい問題です。

解答例

実際の新聞の見出しにとらわれることなく、ハチになりきって、「菜の花さん 暖かいね」でも、「ハチさん 春ですよ」とハチに語り掛ける見出しでも構いません。